



特設の給水所で冷感タオルをぬらす児童

幸田町六栗の鈴木化学工業所で

道中に「給水所」

幸田 登下校の児童らの熱中症対策

幸田町六栗の自動車部品メーカー「鈴木化学工業所」（小幡和史社長）はこのほど、豊坂学区に住む小中学生の熱中症対策として、本社正門前に「給水所」を設けた。

豊坂小に通う児童は、最長で片道約四キロを歩いて登下校する。

冷感タオル（同町が七月二十日に配布）が途中で乾き、熱中症や脱水症状などの心配があ

ることを学区内の区長らから聞いた小幡社長が設置を決めた。給水所には、飲料用のウォーターサーバーと、敷地内の水道からホースでつないだタオルをぬらすための蛇口がある。九月中旬までの予定。

八月五日には、給水所で冷感タオルを水でぬらし、サーバーの水を飲んで「冷たい、生き返る」と喜ぶ児童の

姿があった。小幡社長は「元気に登下校して